KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14000シリーズ、C7100シリーズ、C4080シリーズ、C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 02 -

用紙

別冊：封筒印刷

Ver. 01.03

目次

1 概要

2 封筒用キットの取付け／封筒のセット

3 封筒を設定する

4 封筒印刷を行う

もくじ

1 概要

1.1 はじめに ... 1-2
1.2 封筒印刷の注意点 ... 1-3
注意事項 ... 1-3
使用できない封筒 ... 1-3
おすすめの封筒 ... 1-3
1.3 封筒の仕様 ... 1-4
対応サイズ ... 1-4
推奨サイズ ... 1-4
積載容量（給紙トレイ） ... 1-5
積載容量（排紙トレイ） ... 1-5

2 封筒用キットの取付け／封筒のセット

2.1 概要 ... 2-2
2.2 本体トレイ（サブトレイ）に封筒をセットする ... 2-3
概要 ... 2-3
手順 ... 2-3
2.3 大容量給紙ユニット LU-202m /
大容量給紙ユニット LU-202XLm / 大容量給紙ユニット LU-208 /
大容量給紙ユニット LU-208XL に封筒をセットする ... 2-6
概要 ... 2-6
取付けキット MK-746 の使用部品 ... 2-6
手順（角 2 封筒の場合） ... 2-7
手順（長 4 または長 3 封筒の場合） ... 2-10
手順（角 1 または角 0 封筒の場合） ... 2-12
手順（C5、C6/C5 または 6 x 9 1/2 封筒の場合） ... 2-14
2.4 マルチ手差し給紙ユニット MB-509 /
マルチ手差し給紙ユニット MB-510 に封筒をセットする ... 2-17
概要 ... 2-17
手順 ... 2-17
2.5 ペーパーフィーダーユニット PF-707m に封筒をセットする ... 2-19
概要 ... 2-19
手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 未満の封筒の場合） ... 2-19
手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 以上の封筒の場合） ... 2-22
2.6 ペーパーフィーダーユニット PF-712 /
ペーパーフィーダーユニット PF-713 に封筒をセットする ... 2-24
概要 ... 2-24
手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 未満の封筒の場合） ... 2-24
手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 以上の封筒の場合） ... 2-26
2.7 ペーパーフィーダーユニット PF-812 に封筒をセットする ... 2-28
概要 ... 2-28
手順 ... 2-28

3 封筒を設定する

概要 ... 3-2
手順 ... 3-2

4 封筒印刷を行う

概要 ... 4-2
手順 ... 4-2

1 概要

1 概要

1.1 はじめに

本冊では、封筒の印刷方法や必要な設定について説明しています。

● 対応モデル

- AccurioPress C14000 / AccurioPress C12000（以下、C14000）
- AccurioPress C4080 / AccurioPress C4070（以下、C4080）
- AccurioPress C7100 / AccurioPress C7090（以下、C7100）
- AccurioPress C14010 / AccurioPress C14010S / AccurioPress C12010 / AccurioPress C12010S（以下、C14010）
- AccurioPress C5080 / AccurioPress C5070（以下、C5080）
- AccurioPress C8100（以下、C8100）

参照

- 本機の仕様や各種設定について詳しくは、「オペレーションクイックガイド No.01 基本操作」または HTML ユーザーズガイドをごらんください。

1.2 封筒印刷の注意点

注意事項

封筒印刷を行う際は、事前に以下の内容をご確認ください。

- 封筒をセットできる給紙トレイは限定されます。詳しくは、2-2 ページの各手順をごらんください。
- 封筒印刷時は、搬出先の排紙トレイが限定されます。
- 封筒印刷時は、印刷速度が遅くなる場合があります。

事前に以下のオプションを本体に取付けることで、封筒印刷の生産性が向上します。

- C14010 / C14000：**封筒定着ユニット EF-106**
- C4080：**封筒定着ユニット EF-107**
- C8100 / C7100：**封筒定着ユニット EF-108**
- C5080：**封筒定着ユニット EF-111**（ただし、C5070 日本仕向けは非対応）

詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

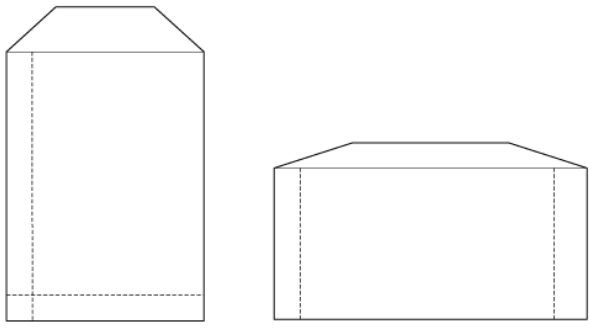
使用できない封筒

以下の封筒は使用できません。

- フィルム素材の窓が付いた封筒
- フラップに両面テープや剥離紙が付いた封筒

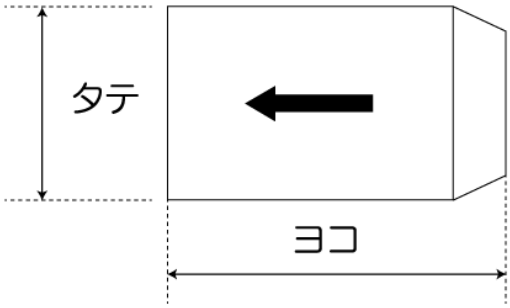
おすすめの封筒

スミ貼り（A）またはカマス貼り（B）の封筒を使用することをおすすめします。印刷面に糊しろが重なると、印字がかすれる場合があります。



1.3 封筒の仕様

対応サイズ



タテ：100 mm ～ 245 mm / 3.94" ～ 9.65"

※ **サイド補助ガイド**使用範囲：100 mm ～ 140 mm / 3.94" ～ 5.51"

ヨコ：148 mm ～ 375 mm / 5.83" ～ 14.76"

推奨サイズ

規格	サイズ	タテ	ヨコ（フラップを除く）
国内規格	角 2	240 mm / 9.45"	332 mm / 13.07"
	長 3	120 mm / 4.72"	235 mm / 9.25"
	長 4*1	90 mm / 3.54"	205 mm / 8.07"
北米規格	6 × 9 1/2	241 mm / 9.49"	152 mm / 5.98"
ISO 規格	C5	229 mm / 9.02"	162 mm / 6.38"
	C6/C5	229 mm / 9.02"	114 mm / 4.49"*2

*1：C4080 / C7100 / C5080 / C8100 のみ。

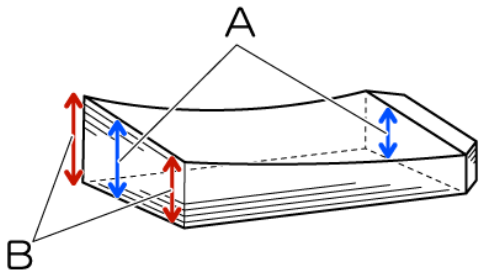
*2：フラップが開いた状態で 148 mm / 5.83" 以上の長さであること。

積載容量（給紙トレイ）

マルチ手差し給紙ユニット：1 枚

その他の給紙トレイ：100 枚（角 0 および角 1 封筒は 50 枚）

※ ペーパーフィーダーユニット PF-712 / ペーパーフィーダーユニット PF-713 / ペーパーフィーダーユニット PF-812 の場合、積載した封筒（束）の高さの差（A、B）が 10 mm / 0.39" 以下であること。



A：積載した封筒の左右の高さ差

B：積載した封筒の前後の高さ差

積載容量（排紙トレイ）

排紙トレイ（排紙トレイ OT-511）：50 枚

排紙トレイ（フィニッシャー FS-532 / フィニッシャー FS-541 / 排紙トレイ OT-512）：100 枚

※ その他の排紙オプションについて詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

2 封筒用キットの取付け／封筒のセット

2 封筒用キットの取付け／封筒のセット

2.1 概要

封筒用キットの取付けおよび封筒のセットについて説明します。

お使いのモデルによって、使用するオプションや手順が異なります。

以下の表を参照し、該当する項目をご確認ください。

✓：対応　×：非対応

項目	C14010 / C14000	C4080	C7100	C5080	C8100
2.2 本体トレイ（サブトレイ）に封筒をセットする	×	×	✓	×	✓
2.3 大容量給紙ユニット LU-202m / 大容量給紙ユニット LU-202XLm / 大容量給紙ユニット LU-208 / 大容量給紙ユニット LU-208XL に封筒をセットする	×	✓	✓	✓	✓
2.4 マルチ手差し給紙ユニット MB-509 / マルチ手差し給紙ユニット MB-510 に封筒をセットする	×	✓	✓	✓	×
2.5 ペーパーフィーダーユニット PF-707m に封筒をセットする	×	✓	×	×	×
2.6 ペーパーフィーダーユニット PF-712 / ペーパーフィーダーユニット PF-713 に封筒をセットする	✓	×	✓	✓	✓
2.7 ペーパーフィーダーユニット PF-812 に封筒をセットする	✓	×	✓	✓	✓

重要

■ 用紙をセットする前に、本体の電源を ON にしてください。電源の入れ方について詳しくは、「オペレーションクイックガイド No.01 基本操作」または HTML ユーザーズガイドをごらんください。

参考

■ トレイへの用紙セット手順は動画でも確認できます。

用紙セット手順

参照

■ 用紙設定について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

2.2　本体トレイ（サブトレイ）に封筒をセットする

概要

C8100 / C7100 の**本体トレイ（サブトレイ）**に封筒をセットします。

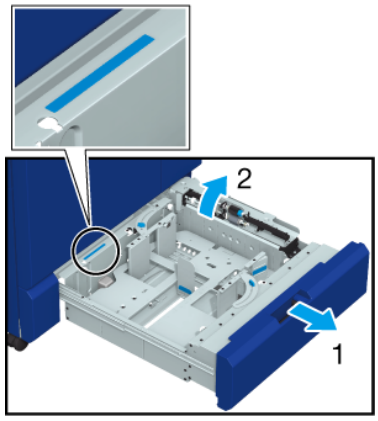
手順

➔ C7100 の図を例にして説明しています。C8100 をご使用時も同様の手順でセットしてください。

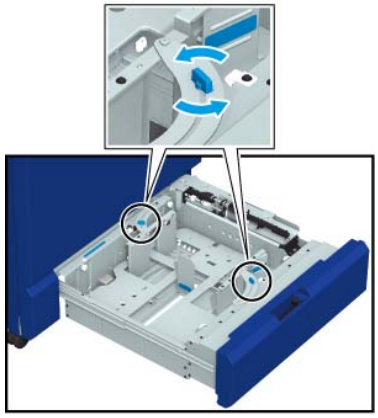
1　トレイを引出して、**給紙ローラー**を開きます。

重要

- トレイ左奥のブルーのラベルが見えるまで、確実にトレイを引出してください。**給紙ローラー**が開かなかったり、そのほかの機械故障の原因になります。

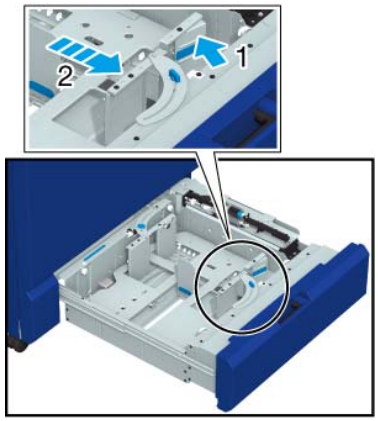


2　**側面ガイド固定ツマミ**（手前と奥の 2 箇所）を、反時計方向に回してゆるめます。



3 **側面ガイドロック解除レバー**を押しながら、**側面ガイド板**を広げます。

✔ **トレイ底板**のサイズ指標を基準にして移動します。

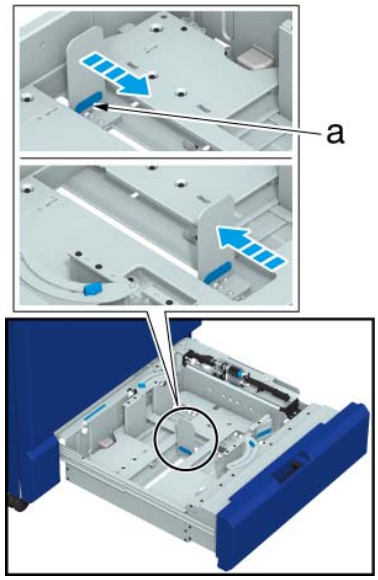


4 **後端ガイド板**を広げます。

✔ **後端ガイド板**を移動するときは、**後端ガイド板**下部の青いラベル部（a）を持ってスライドします。

重要

■ **後端ガイド板**を無理に動かすと、破損することがありますのでご注意ください。

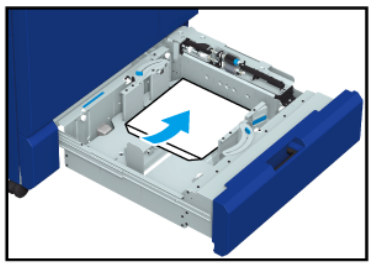


5 印刷面を下にして、封筒を 1 枚セットします。

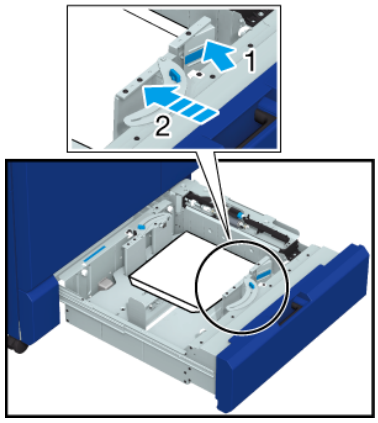
✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが**後端ガイド板**側に来るように、トレイの右側に突当ててセットします。

重要

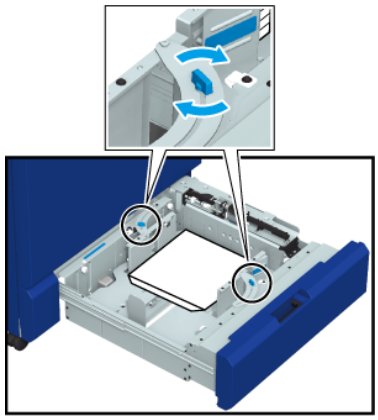
■ 封筒は必ず 1 枚ずつセットしてください。



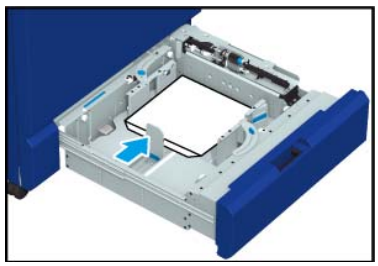
6 **側面ガイドロック解除レバー**を押しながら、**側面ガイド板**を封筒に沿わせます。



7 **側面ガイド固定ツマミ**（手前と奥の 2 箇所）を、時計方向に回して固定します。



8 **後端ガイド板**を封筒に沿わせます。



9 トレイを奥まで確実に押込みます。

用紙残量の表示は「▼」から「≡」に変わります。

2.3 大容量給紙ユニット LU-202m / 大容量給紙ユニット LU-202XLm / 大容量給紙ユニット LU-208 / 大容量給紙ユニット LU-208XL に封筒をセットする

概要

大容量給紙ユニット LU-202m / **大容量給紙ユニット LU-202XLm** / **大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** に封筒をセットします。

重要

- 封筒をセットできるのは、**大容量給紙ユニット LU-202m** / **大容量給紙ユニット LU-202XLm** / **大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** が直接本体に装着されている場合のみです。

参考

- C4080 では**大容量給紙ユニット LU-202m** / **大容量給紙ユニット LU-202XLm** を使用します。
- C7100 / C5080 / C8100 では**大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** を使用します。
- ここでは**大容量給紙ユニット LU-202m** を例にして説明しています。

取付けキット MK-746 の使用部品

大容量給紙ユニットに装着する**取付けキット MK-746** の部品の種類は、封筒のサイズによって異なります。

以下の表を参照し、使用する部品をご確認ください。

項目	底面補助ガイド	後端持上げ部材	後端ガイド軸	側面補助ガイド	先端補助ガイド	底面補助プレート
						
角 2	✓	✓	✓	×	×	×
■ 角 1 ■ 角 0	✓	✓	×	×	×	✓
■ 長 4 ■ 長 3	✓	✓	✓	✓	×	×
■ C5 ■ C6/C5 ■ 6 × 9 1/2	✓	✓	✓	×	✓	✓

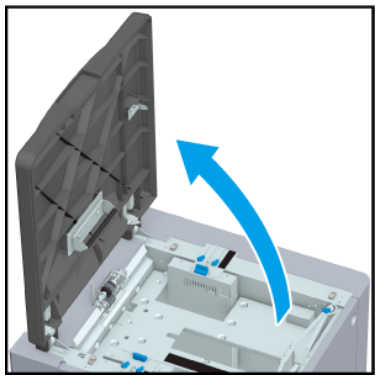
手順（角 2 封筒の場合）

1 **上扉**を開きます。

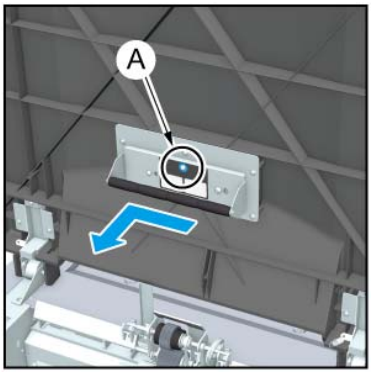
✔ **トレイ底板**が下降します。

重要

■ 本体の電源が入っていないと、**トレイ底板**は下降しません。

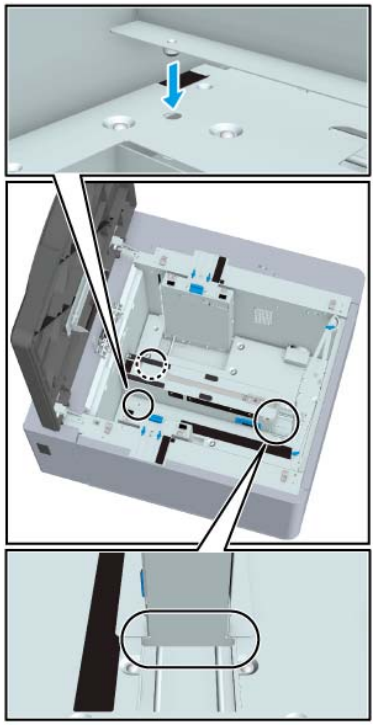


2 **ロックピン**（図の A）を押込み、**紙押さえ**を横にスライドさせて引抜きます。



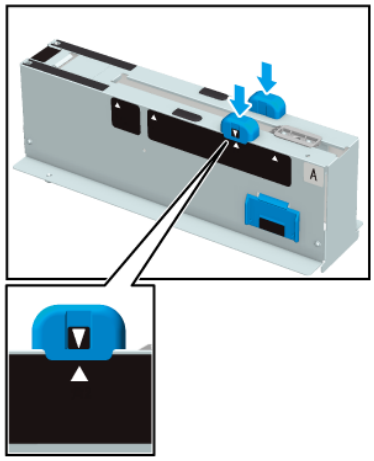
3 **トレイ底板**に**取付けキット MK-746** の**底面補助ガイド**を置き、位置決めピンで固定します。

✔ **底面補助ガイド**の回り止め部を**トレイ底板**の溝に合わせて取付けます。

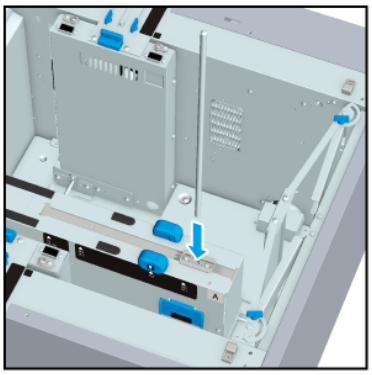


4 **後端持上げ部材**（2 個）を**底面補助ガイド**の図の位置（右から２番目）に取付けます。

✔ **底面補助ガイド**の▲マークに**後端持上げ部材**の ▼ マークを合わせてください。

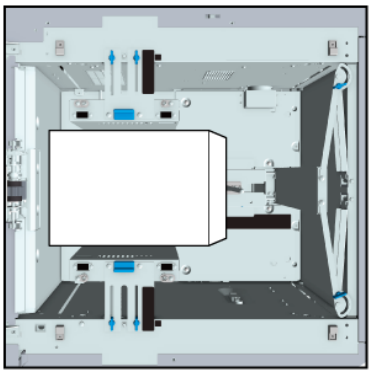


5 **底面補助ガイド**の後端ガイド基部に**後端ガイド軸**を取付けます。



6 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

- ✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイの左側に突当ててセットします。
- ✔ 封筒をたわませ、垂れ下がらないようにセットしてください。



7 **後端ガイド軸**を封筒に沿わせます。

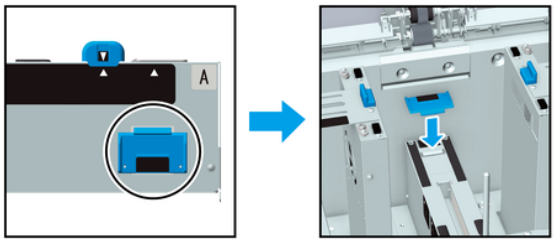
8 **側面ガイド**を封筒に沿わせ、**側面ガイドツマミ**を回して固定します。

9 **上扉**を閉じます。

参考

80 g/m^2 / 21 lb Bond 以下の封筒を少数枚セットした場合にエラーが多発するときは、以下の手順を行います。

- 1. **底面補助ガイド**の側面から**先端持上げ部材**を取りはずす。
- 2. **先端持上げ部材**を**底面補助ガイド**奥に取付ける。



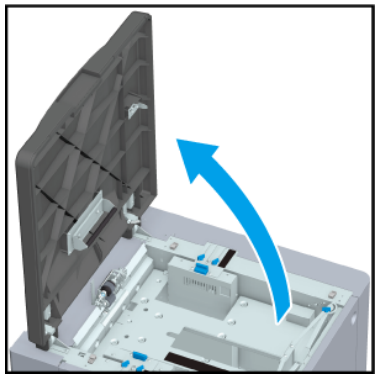
手順（長 4 または長 3 封筒の場合）

1 **上扉**を開きます。

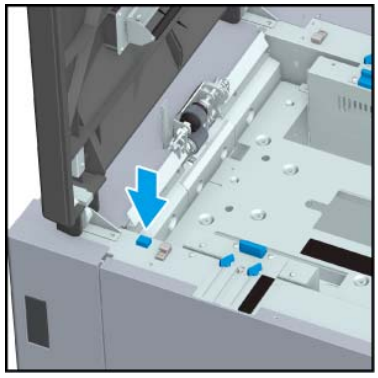
✔ **トレイ底板**が下降します。

重要

- 本体の電源が入っていないと、**トレイ底板**は下降しません。



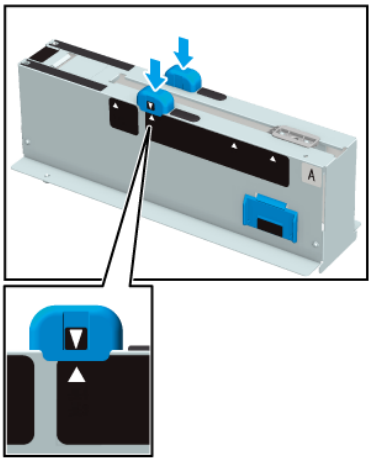
2 **トレイ底板下降ボタン**を押し、**トレイ底板**を一番下まで下げます。



3 2-7 ページの手順 2 ～ 手順 3 を参照し、設置準備をします。

4 **後端持上げ部材**（2 個）を**底面補助ガイド**の図の位置（左から 2 番目）に取付けます。

✔ **底面補助ガイド**の▲マークに**後端持上げ部材**の▼マークを合わせてください。

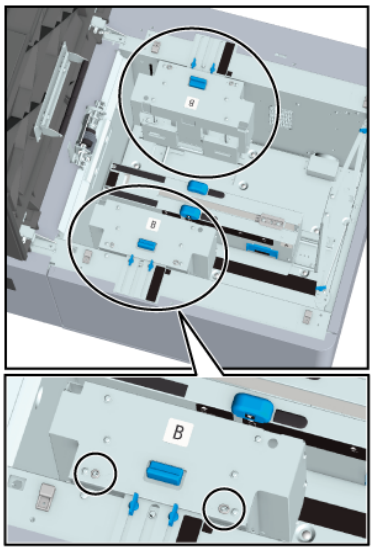


5 **側面補助ガイド**を**大容量給紙ユニット LU-202m / 大容量給紙ユニット LU-202XLm / 大容量給紙ユニット LU-208 / 大容量給紙ユニット LU-208XL** の**側面ガイド**に取付けます。

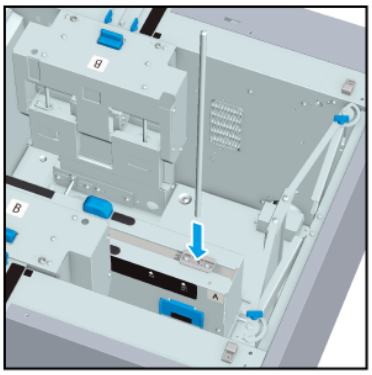
✔ **側面補助ガイド**の取付け穴を**側面ガイド**の位置決めネジにはめるように取付けてください。

重要

■ **トレイ底板**が一番下まで下がった状態で取付けてください。

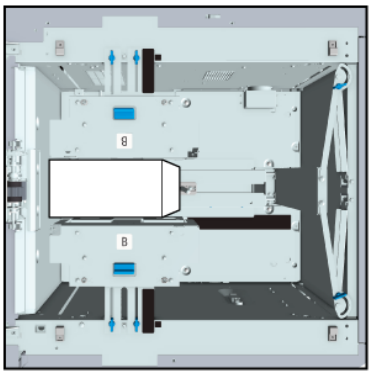


6 **底面補助ガイド**の後端ガイド基部に**後端ガイド軸**を取付けます。



7 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイの左側に突当ててセットします。



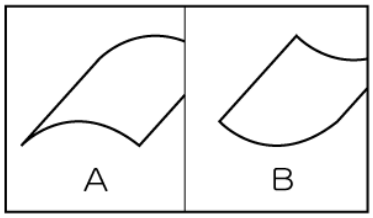
8 **後端ガイド軸**を封筒に沿わせます。

9 **側面ガイド**を封筒に沿わせ、**側面ガイドツマミ**を回して固定します。

10 **上扉**を閉じます。

手順（角 1 または角 0 封筒の場合）

➔ 使用する封筒のフラップを持って垂直に垂らしたときのカールの向きとカール量によって手順が異なります。



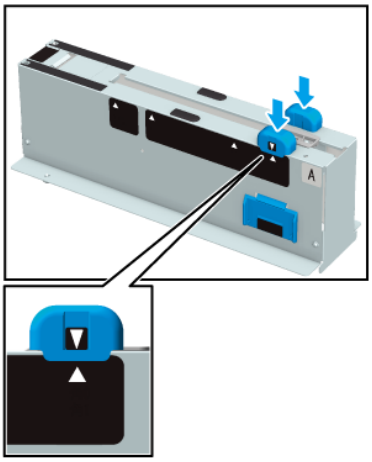
➔ 封筒が上凸カールしている場合（図の A）は、通常の用紙と同様にセットします。セット方法について詳しくは、HTML ユーザーズガイドをごらんください。

➔ 封筒が下凸カールしている場合（図の B）は、以下の手順を参考に封筒をセットしてください。

1 2-7 ページの手順 1 ～ 手順 3 を参照し、設置準備をします。

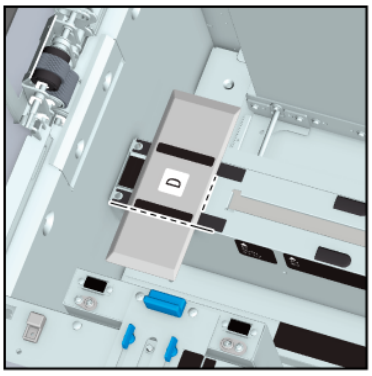
2 **後端持上げ部材**（2 個 ）を**底面補助ガイド**の図の位置（右端）に取付けます。

✔ **底面補助ガイド**の▲マークに**後端持上げ部材**の ▼ マークを合わせてください。



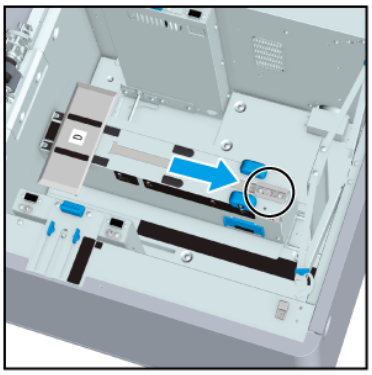
3 **底面補助プレート**を取付けます。

✔ **底面補助プレート**を**底面補助ガイド**のケガキ線に、**底面補助プレート**の PET シートのエッジを**底面補助ガイド**のエッジにそれぞれ合わせて取付けます。



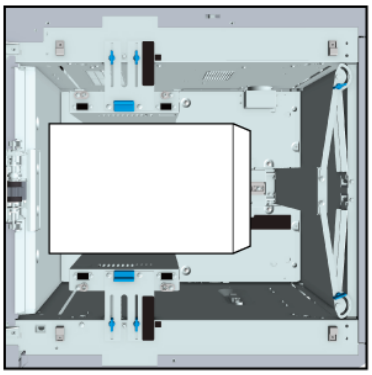
4 後端ガイド基部を最後端まで移動します。

✔ **後端ガイド軸**が取付けられている場合は取りはずしてください。



5 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

- ✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイの左側に突当ててセットします。
- ✔ 封筒をたわませ、垂れ下がらないようにセットしてください。



6 **大容量給紙ユニット LU-202m** / **大容量給紙ユニット LU-202XLm** / **大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** の**後端ガイド**を封筒に沿わせます。

7 **側面ガイド**を封筒に沿わせ、**側面ガイドツマミ**を回して固定します。

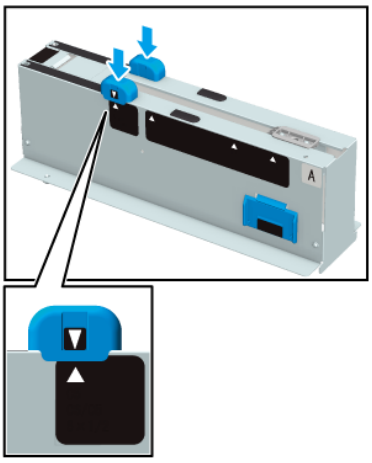
8 **上扉**を閉じます。

手順（C5、C6/C5 または 6 x 9 1/2 封筒の場合）

1 2-7 ページの手順 1 ～ 手順 3 を参照し、設置準備をします。

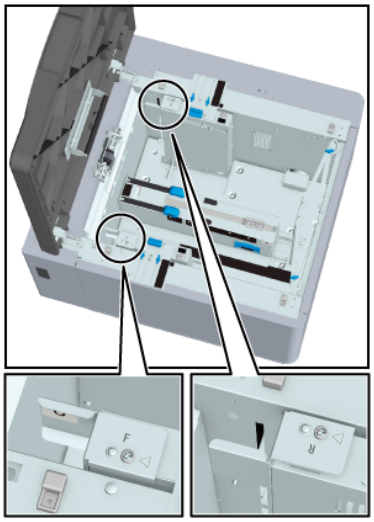
2 **後端持上げ部材** (2 個) を**底面補助ガイド**の図の位置（左端）に取付けます。

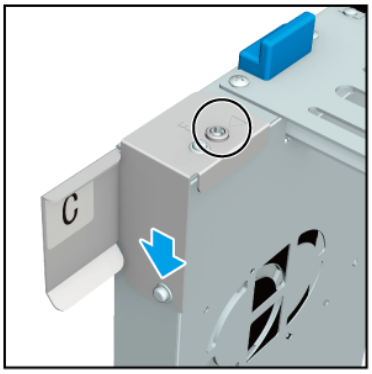
- ✔ **底面補助ガイド**の▲マークに**後端持上げ部材**の▼マークを合わせてください。



3 **先端補助ガイド**を**大容量給紙ユニット LU-202m** / **大容量給紙ユニット LU-202XLm** / **大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** の**側面ガイド**に取付けます。

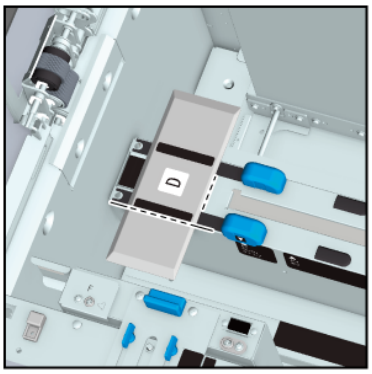
- ✔ **先端補助ガイド**の穴を**側面ガイド**の位置決めピンに合わせます。
- ✔ **先端補助ガイド**の切欠きを**側面ガイド**の位置決めカラーに合わせます。



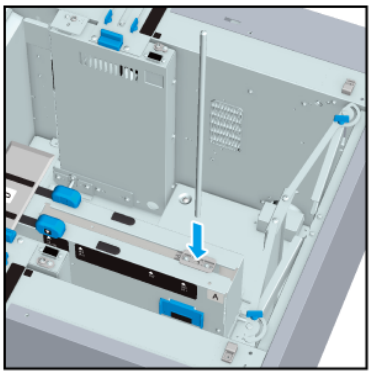


4 **底面補助プレート**を取付けます。

- ✔ **底面補助プレート**を**底面補助ガイド**のケガキ線に、**底面補助プレート**の PET シートのエッジを**底面補助ガイド**のエッジにそれぞれ合わせて取付けます。
- ✔ 封筒のカール方向によっては、**底面補助プレート**を取付けないほうが給送性が改善される場合があります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

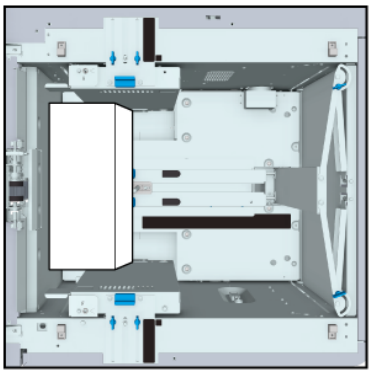


5 **底面補助ガイド**の後端ガイド基部に**後端ガイド軸**を取付けます。



6 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイの左側に突当ててセットします。



7 **後端ガイド軸**を封筒に沿わせます。

8 **側面ガイド**を封筒に沿わせ、**側面ガイドツマミ**を回して固定します。

9 **上扉**を閉じます。

2.4 マルチ手差し給紙ユニット MB-509 / マルチ手差し給紙ユニット MB-510 に封筒をセットする

概要

マルチ手差し給紙ユニット MB-509 / マルチ手差し給紙ユニット MB-510 に封筒をセットします。

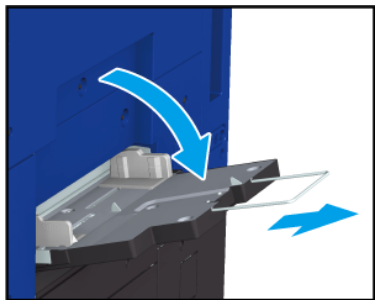
参考

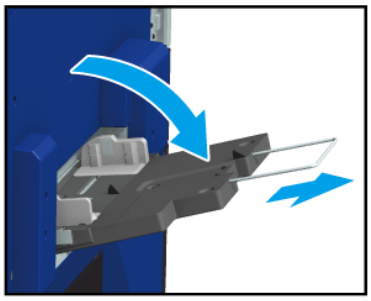
- C4080 / C5080 では**マルチ手差し給紙ユニット MB-509** を使用します。
- C7100 では**マルチ手差し給紙ユニット MB-510** を使用します。

手順

1 **手差しトレイ**を開きます。

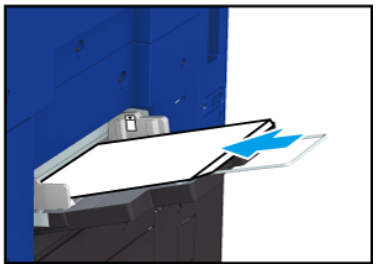
✔ 大きなサイズの封筒をセットするときは、補助ガイドを引出します。

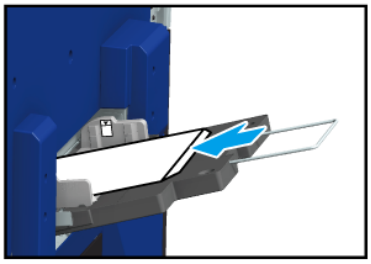




2 印刷面を上にして、封筒を 1 枚セットします。

✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイ先端に突当ててセットします。



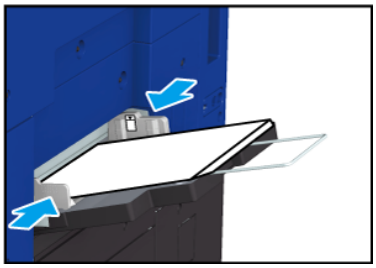


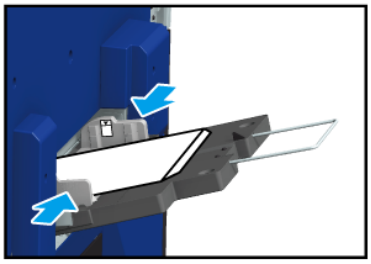
3 **側面ガイド板**を封筒に沿わせます。

✔ 封筒残量の表示は「」から「」に変わります。

重要

- 封筒は必ず 1 枚ずつセットしてください。
- 封筒は、トレイの左方向に突当てるようにセットしてください。突当てが不十分だと用紙の曲がりや給紙不良を起こし、紙づまりの原因になります。





4 出力終了後は、**手差しトレイ**を閉じます。

2.5 ペーパーフィーダーユニット PF-707mに封筒をセットする

概要

ペーパーフィーダーユニット PF-707m に封筒をセットします。

重要

- 封筒をセットできるのは、1 連目のペーパーフィーダーユニットの**下段トレイ**（トレイ 5）だけです。

手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 未満の封筒の場合）

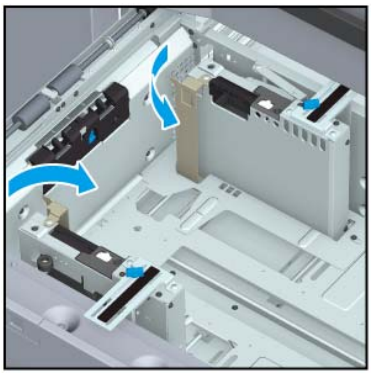
1 封筒をセットするトレイを引出します。



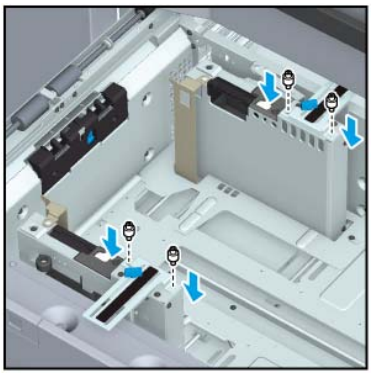
重要

- 本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。
- 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。

2 手前および奥の**側面ガイド板**の**小サイズガイド**をそれぞれ内側に開きます。

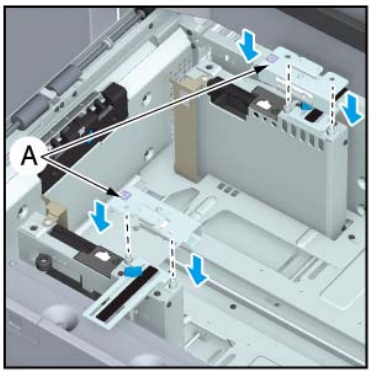


3 ネジ（2 箇所、各 2 本）を取りはずして、位置決めネジ（2 箇所、各 2 本）を取付けます。

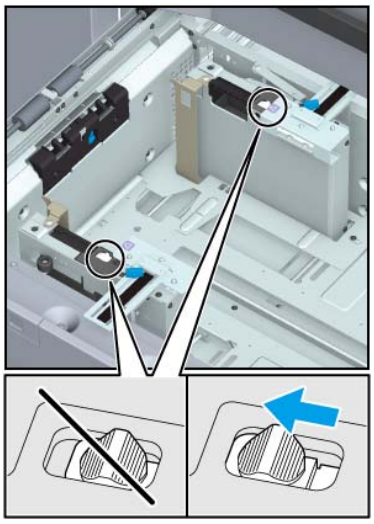


4 **サイド補助ガイド** (2 個) を**側面ガイド板**の位置決めネジに差込みセットします。

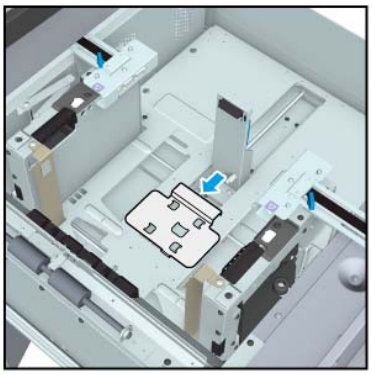
✔ 目印Aが図のような向きになるように取付けてください。



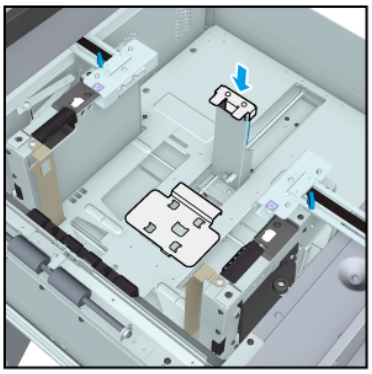
5 **紙押さえ板固定レバー**（2 箇所）を左側にスライドしてロックします。



6 **後端補助ガイド（下）**をトレイ底面の溝に突当てて取付けます。



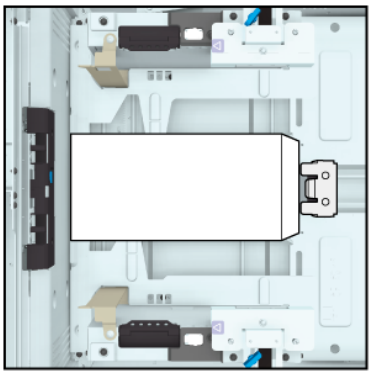
7 **後端補助ガイド（上）**を**後端ガイド板**上部に取付けます。



8 トレイの**側面ガイド板**の**側面ガイド固定ツマミ**をゆるめます。

9 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイ先端に突当ててセットします。



10 トレイの**側面ガイド板**を封筒に沿わせ、**側面ガイド固定ツマミ**を回して固定します。

重要

- **側面ガイド板**に無理な力をかけないでください。**後端補助ガイド（下）**が破損する原因になります。

11 トレイの**後端ガイド板**を封筒に沿わせます。

12 トレイを奥まで確実に押込みます。

手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 以上の封筒の場合）

1 封筒をセットするトレイを引出します。

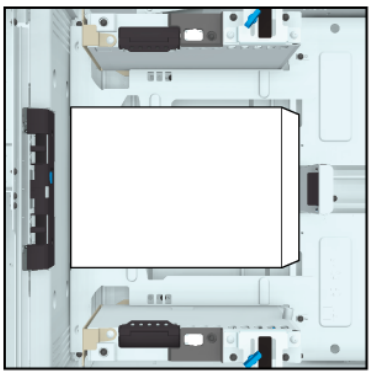
重要

- 本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。
- 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



2 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

- ✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイ先端に突当ててセットします。
- ✔ **サイド補助ガイド**が取付けられている場合は、取りはずしてください。位置決めネジは取りはずす必要はありません。



3 トレイの**側面ガイド板**を封筒に沿わせ、**側面ガイド固定ツマミ**を回して固定します。

4 トレイの**後端ガイド板**を封筒に沿わせます。

5 トレイを奥まで確実に押込みます。

2.6 ペーパーフィーダーユニット PF-712 / ペーパーフィーダーユニット PF-713 に封筒をセットする

概要

ペーパーフィーダーユニット PF-712 / ペーパーフィーダーユニット PF-713 に封筒をセットします。

重要

- 封筒をセットできるのは、1 連目のペーパーフィーダーユニットの**下段トレイ**だけです。

参考

- C14000 に**ペーパーフィーダーユニット PF-712** が装着された図を例にして説明しています。C14010 / C7100 / C5080 / C8100 をご使用時も同様の手順でセットしてください。

手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 未満の封筒の場合）

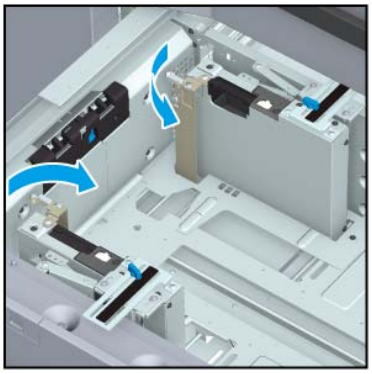
1 封筒をセットするトレイを引出します。



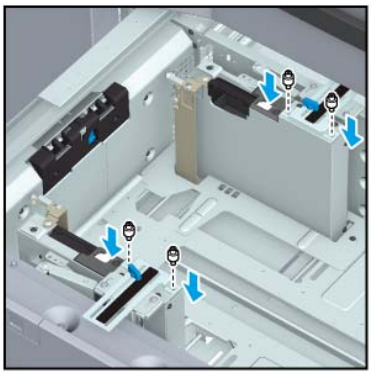
重要

- 本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。
- 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。

2 手前および奥の**側面ガイド板**の**小サイズガイド**をそれぞれ内側に開きます。

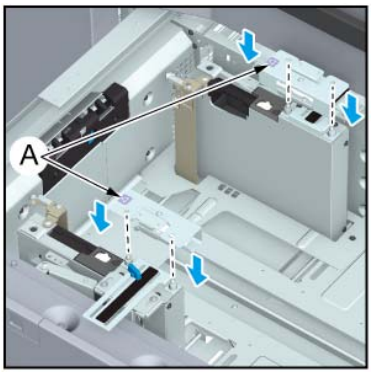


3 ネジ（2 箇所、各 2 本）を取りはずして、位置決めネジ（2 箇所、各 2 本）を取付けます。

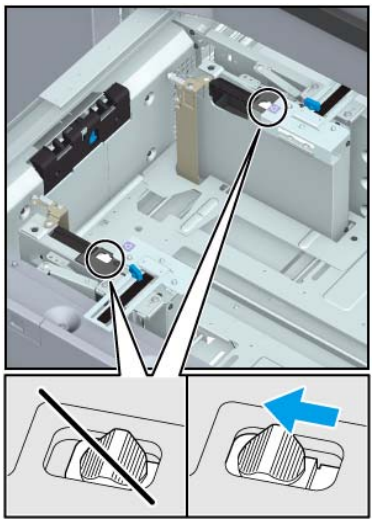


4 **サイド補助ガイド**（2 個）を**側面ガイド板**の位置決めネジに差込みセットします。

✔ 目印Aが図のような向きになるように取付けてください。



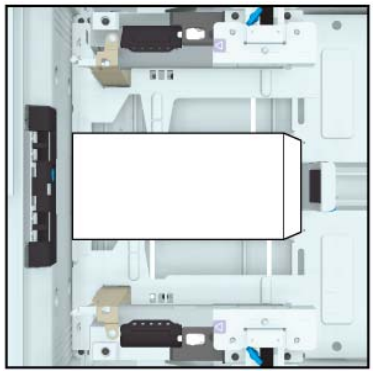
5 **紙押さえ板固定レバー**（2 箇所）を左側にスライドしてロックします。



6 トレイの**側面ガイド板**の**側面ガイド固定ツマミ**をゆるめます。

7 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイ先端に突当ててセットします。



8 トレイの**側面ガイド板**を封筒に沿わせ、**側面ガイド固定ツマミ**を回して固定します。

9 トレイの**後端ガイド板**を封筒に沿わせます。

10 トレイを奥まで確実に押込みます。

手順（タテ 139.7 mm / 5.5" 以上の封筒の場合）

1 封筒をセットするトレイを引出します。

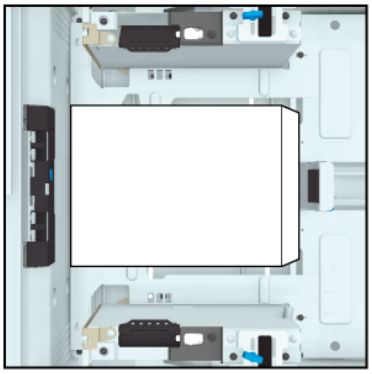
重要

- 本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。
- 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



2 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

- ✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイ先端に突当ててセットします。
- ✔ **サイド補助ガイド**が取付けられている場合は、取りはずしてください。位置決めネジは取りはずす必要はありません。



3 トレイの**側面ガイド板**を封筒に沿わせ、**側面ガイド固定ツマミ**を回して固定します。

4 トレイの**後端ガイド板**を封筒に沿わせます。

5 トレイを奥まで確実に押込みます。

2.7 ペーパーフィーダーユニット PF-812 に封筒をセットする

概要

ペーパーフィーダーユニット PF-812 に封筒をセットします。

重要

■ 封筒をセットできるのは、1 連目のペーパーフィーダーユニットの**下段トレイ**だけです。

手順

➔ C14000 に**ペーパーフィーダーユニット PF-812** が装着された図を例にして説明しています。C14010 / C7100 / C5080 / C8100 をご使用時も同様の手順でセットしてください。

1 封筒をセットするトレイを引出します。

重要

■ 本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。

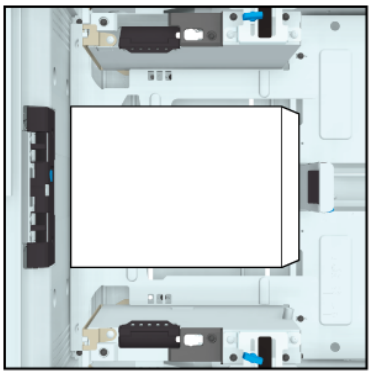
■ 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



2 印刷面を上にして、封筒をトレイにセットします。

✔ 封筒のフラップを開いた状態で、フラップが右側に来るように、トレイ先端に突当ててセットします。

✔ **サイド補助ガイド**が取付けられている場合は、取りはずしてください。位置決めネジは取りはずす必要はありません。



3 トレイの**側面ガイド板**（左）を封筒に沿わせ、**側面ガイド固定ツマミ**を回して固定します。

4 トレイの**後端ガイド板**を封筒に沿わせます。

5 トレイを奥まで確実に押込みます。

3 封筒を設定する

3 封筒を設定する

概要

ここでは、本機の**タッチパネル**で封筒の用紙設定を行う手順を説明します。

手順

1 **タッチパネル**で［機械状態］画面の［用紙設定］を押します。



✔ 封筒定着ユニットを本体に装着している場合は、［機械状態］画面に［封筒限定］と表示されます。

2 ［用紙設定］画面で封筒をセットしたトレイを選択し、［設定変更］を押します。



✔ C8100 / C7100 の**本体トレイ**（**サブトレイ**）にセットした場合は、［サブトレイ］を選択します。

✔ **マルチ手差し給紙ユニット MB-509** / **マルチ手差し給紙ユニット MB-510** にセットした場合は、［手差し］を選択します。

✔ **大容量給紙ユニット LU-202m** / **大容量給紙ユニット LU-202XLm** にセットした場合は、［トレイ 3］を選択します。

✔ C5080 ご使用時に**大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** にセットした場合は、［トレイ 3］を選択します。C8100 / C7100 ご使用時に**大容量給紙ユニット LU-208** / **大容量給紙ユニット LU-208XL** にセットした場合は、［トレイ 1］を選択します。

✔ **ペーパーフィーダーユニット PF-707m** にセットした場合および C5080 ご使用時に**ペーパーフィーダーユニット PF-712** / **ペーパーフィーダーユニット PF-812** にセットした場合は、［トレイ 5］を選択します。

✔ C14010 / C14000 / C8100 / C7100 ご使用時に**ペーパーフィーダーユニット PF-712** / **ペーパーフィーダーユニット PF-713** / **ペーパーフィーダーユニット PF-812** にセットした場合は、［トレイ 3］を選択します。

3 ［用紙種類］を設定します。

✔ 封筒定着ユニットを本体に装着している場合は、［用紙種類］は［封筒］で固定になります。



4 ［用紙サイズ］を押します。

5 ［不定形サイズ］を選択し、封筒サイズを設定します。

✔ ［(1)］（通紙交差方向）または［(2)］（通紙方向）を選択し、画面のテンキーまたは**操作パネル**の**テンキー**で数値を入力します。

✔ ［▲］／［▼］でも数値を変更できます。



6 ［坪量］を設定します。

✔ 封筒用紙坪量:70 g/m^2 ～ 100 g/m^2 / 19 lb Bond ～ 27 lb Bond



7 その他の項目についても、必要に応じて設定し、[OK] を押します。

✔ 印刷面は片面、排紙面はフェイスアップに限定されます。

8 [閉じる] を押して、[機械状態] 画面に戻ります。

4 封筒印刷を行う

4 封筒印刷を行う

概要

ここでは、**PS Plug-in ドライバー**で封筒（タテ 240 mm × ヨコ 332 mm / タテ 9.45" × ヨコ 13.07"）に印刷する手順を説明します。

想定環境は、OS：Windows 11、アプリケーション：Adobe Acrobat Reader DC です。

- 事前準備

■ コンピューターに **PS Plug-in ドライバー**をインストールします。

■ 本機にコニカミノルタ製の**イメージコントローラー**を装着します。

重要

■ お使いの環境およびアプリケーションのバージョンなどによって、実際の表示と異なることがあります。

参考

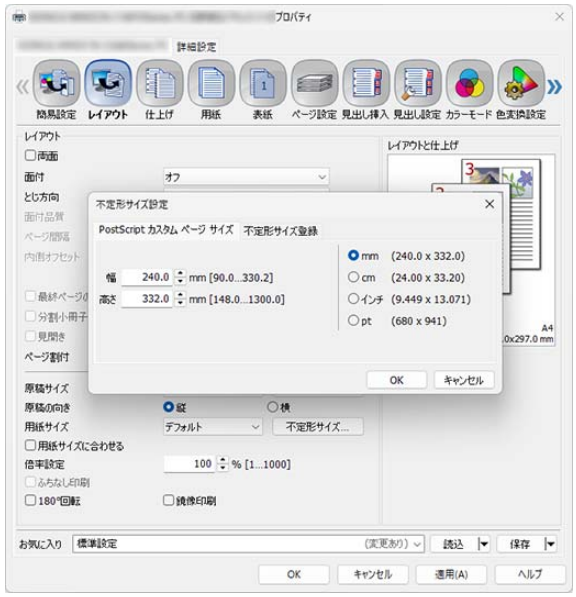
■ プリンタードライバーで設定をするときは、各項目タブに前回の設定が残っていないかを確認してください。設定が残っている場合は、すべてクリアしてください。

手順

1 アプリケーションで原稿を開き、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックします。

2 印刷するプリンターを選択し、［プロパティ］をクリックします。

3 ［レイアウト］タブを選択し、以下の項目を設定します。



項目	設定値
［両面］	チェックをはずす
［原稿サイズ］	［不定形サイズ ...］を選択し、［幅］（240 mm / 9.45"）と［高さ］（332 mm / 13.07"）を設定する
［用紙サイズ］	

4 ［用紙］タブを選択し、［トレイ / 用紙情報取得］をクリックします。

- ✔ トレイ／用紙情報が取得できると、「✔」が表示されます。
- ✔ トレイ／用紙情報を取得できなかったときは、「✖」が表示されます。オプションの給紙トレイなどが正しく装着されているか、確認してください。



5 ［給紙トレイ］で封筒をセットしたトレイを選択して、［OK］をクリックします。



6 ［印刷］画面で印刷したい［部数］を入力し、［印刷］をクリックします。